

令和5年度第3回我孫子市自殺対策協議会 会議概要

(1) 会議の名称	令和5年度第3回我孫子市自殺対策協議会		
(2) 開催日時	令和5年11月24日(金) 午前10時から午前11時まで		
(3) 開催場所	市役所分館 大会議室		
(4) 出席又は欠席した委員その他会議に出席した者の氏名 (傍聴人を除く) 出：出席 欠：欠席	委 員 (市職員以外)		
	欠	出	欠
	出	出	出
	出	欠	出
	欠 箕下 成子 出 池森 紀夫 欠 尾上 匡史 欠 福島 慎太郎 出 渡邊 三枝子 出 鈴木 幸子 出 玉村 公樹 出 柳瀬 玲子 出 小原 邦子 欠 大島 拓未 出 内山 雅郎		
	事務局出席者 社会福祉課 (小池課長、津川補佐、高橋) 障害者支援課 (藪野) 健康づくり支援課 (諏訪) 株式会社明豊		
(5) 議題	(1) 我孫子市自殺対策計画(素案)について (2) その他		
(6) 公開・非公開の別	公開		
(7) 傍聴人の数 (会議を公開した場合)	傍聴人の数	0人	
(8) 会議の内容 (概要)			
発言者	内 容		

議題 1 我孫子市の自殺統計について	
玉村副会長	それでは、議題に入ります。 議題（１）「我孫子市自殺対策計画（素案）」について、事務局より説明を願います。
株式会社明豊	（自殺対策計画素案の概要） <ul style="list-style-type: none"> ・計画は5章の構成となっている。 ・第1章は、計画策定の背景と趣旨を記載している。令和4年10月に国の自殺対策大綱が新たに見直しされたことに伴い、新たな大綱で追加された「子ども・若者の自殺対策の推進」、「女性に対する支援」、「地域自殺対策の取組強化」、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対策の推進」の4項目を次期我孫子市自殺対策計画に反映させている。 ・第2章は、市の自殺の現状と課題として国で出されている統計の数字、また今年6月に行った自殺対策についての市民アンケートの結果を抜粋して記載している。 ・第3章では計画の基本的な考え方を記載している。目指す姿は前回から継承する形で「みんながゲートキーパーのまち「我孫子」を目指して」としている。また目標数値については、国の大綱では平成27年の自殺死亡率を基準として令和8年度までに30%減としているが、市の実情を勘案して我孫子市では25%減としている。 ・国の新たな自殺対策大綱で追加された「自殺者等の名誉及び生活の平穏に配慮する」という方針を次期計画においても追加している。その他、第1章で触れた子ども・若者、女性への支援、また新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた対策についても今回庁内各課から取組について聞き取りを行い施策に追加した。 ・第4章では、前章までで述べてきた計画の基本的な考え方にに基づき具体的な取組について記載している。思春期の児童・生徒への啓発、ゲートキーパーの周知啓発、失業者への就労支援等が今回新たな取組として記載された。また、評価指標については現行の計画目標の達成状況を踏まえながら見直しを行った。
事務局	「自殺対策計画用語解説」をご覧ください。こちらは現計画書の用語解説となっております。解説文に修正がある、または他に解説として記載が必要な用語がありましたらご意見いただければと思います。よろしく願いいたします。
玉村副会長	ただ今、事務局より自殺対策計画素案につきまして説明がありましたが、このことでご質問やご意見などございますか。
鈴木委員	53ページ「民生委員・児童委員への研修の実施」について、ゲートキーパー研修を民生委員・児童委員に対して実施しています。初めてゲートキーパー研修を開催した際には民生委員から「内容が重い、ここまでできない」と言われていましたが何度か研修を開催していく中で「重い内容だけど大事なこと」と理解されてきているように感じます。
玉村副会長	32ページ、計画の数値目標について、国の大綱では基準年から30%減を掲げているところ我孫子市では25%減としている。25%の根拠はどういったものですか。
事務局	我孫子市では基準年から30%減とすると自殺死亡率が11台となり、過去10年間の市の自殺死亡率は15前後で推移していることを鑑みると30%減は目標として厳しいと判断し25%減の12.6としました。ただ、目標数値については今後の検討事項と考えています。
池森委員	71ページ「ICT活用の推進」について、電話やメール以外にどのような媒体で周知をしているのでしょうか。
事務局	今年度は自殺予防週間に合わせてLINE、facebook、X（旧twitter）にゲートキーパーの周知記事を掲載しました。

池森委員	自殺につながってしまうような方は一つの相談先がだめなら次の相談先へ相談しよう、と思えるほど前向きな意識にはならない。また、若い人にとっては電話やメールはほとんど使わない中で、できるだけ手の届きやすい、ハードルの低い媒体で周知をしていく必要があると思います。
玉村副会長	他にご意見等ございませんでしょうか。 計画の名称ですが、「第2次我孫子市いのちを支え合う自殺対策計画（仮称）」となっています。このことについて、ご意見やご提案などございますか。 事務局ではどのように考えていますか。
事務局	現在「仮称」となっている「第2次我孫子市いのちを支え合う自殺対策計画」を正式名称としたいと考えています。
玉村副会長	ただいま、事務局から提案がありました。他にご意見などございますか。 ないようでしたら、「第2次我孫子市いのちを支え合う自殺対策計画」で進めていきたいと思えます。
議題2 その他	
玉村副会長	次に議題（2）その他、について事務局より説明をお願いします。
事務局	今年度、社会福祉課で行った自殺対策に関する取組についてご説明いたします。お配りした資料の「ゲートキーパー啓発リーフレット」をご覧ください。こちらはゲートキーパーの周知啓発を目的として今年度作成したものとなっております。市内公共施設、小中学生の全生徒など20,000枚配布しました。この他に同様のデザインでポスターを50部、ポケットティッシュを5,000部作成し市内公共施設に配布しました。また、9月10日から18日の自殺予防週間にあわせて広報や我孫子市公式SNSにゲートキーパーの周知記事を掲載しました。 来年度からも引き続きゲートキーパーの周知啓発として広報やSNSでの周知とともに、リーフレット、ポスター、ポケットティッシュを市内公共施設等に配布する予定となっております。 また、本日は県精神保健福祉センターの小原委員より精神保健福祉センターのご紹介をお願いしたいと思います。
小原委員	千葉県精神保健福祉センターは今年10月に移転し、「千葉県こころセンター」という愛称を使用することとなりました。移転先は幕張豊砂駅が最寄り駅で、3階までは千葉県総合救急災害医療センターとなっている建物の4階に入っています。事業としては、従来までの業務に加え精神科に関する緊急医療対応やひきこもりセンターの運営を新たに開始しました。また、こころの電話相談として電話相談を行っています。厚労省で行っている「こころの健康相談統一ダイヤル」という、全国統一の電話相談窓口があるのですが、この窓口の回線が埋まっているときに千葉県こころセンターの「こころの電話相談」の窓口で電話が入ってくる仕組みとなっております。
玉村副会長	電話相談というお話がありましたが、対面や訪問での相談は行っているのでしょうか。
小原委員	対面等の支援は、依存症相談、ひきこもり相談で行っています。
柳瀬委員	自殺対策の取組について、自殺された方が医療につながっていたのかと思っています。特に若者には周囲がゲートキーパーとなって見守っていくことが必要だと思います。ゲートキーパーのきづきが苦しんでいる方が医療につながっていく一歩となっていくと思えました。そのためにもゲートキーパーの周知のチラシが多くの方の目に届くよう多くの場所に配布していただけたらと思っています。
事務局	ゲートキーパーの周知リーフレットは今年度、小中学生の全生徒、行政サービスセンター、近隣センター、アビスタ、湖北地区公民館など市内公共施設に配布しています。来年度も引き続き周知のリーフレットを配布する予定となっております。
渡辺委員	悩んでいる人が相談に行くのは難しいと思います。近所付き合いの中で相談につながることはできるかと思いますが距離が遠くなるほど相談にはつながりにくくなるかと思えます。

内山委員（代理竹本委員）	自殺未遂をされた方のケアが必要だと感じています。自殺未遂した方がその後自ら相談に行くことは少ないので、訪問などアウトリーチが重要だと思います。
小原委員	子どもや若者のメンタルヘルスへの啓発が大事だと思います。子どものうちからメンタルヘルスの啓発をしていくことで意識が醸成されていくと思います。
柳瀬委員	小中学生のうちに、悩みを話せる大人が周りにいるといいと思いました。子どものうちの過ごし方は重要で、大人になった時に優しくされたことを懐かしく思い出されることもあると思います。また、子どもや若者、高齢者とライフステージごとの自殺対策が重要だと思います。
鈴木委員	民生委員は高齢者の見守りを主に行っていますが、主任児童委員を中心に子どもの見守りも行っています。
池森委員	たとえ精神科を受診しても救えないことはあります。だからこそいかに情報を届けるかが重要だと思います。ゲートキーパーの啓発リーフレットなどを配布したり、ホームページを定期的に更新するなどして裾野を広げ、情報にアクセスしやすい環境を作ることが必要だと思います。啓発物などは、数年配布したら終わり、ということもありがちかと思いますが継続して配布していくことで多くの人の目に触れられると思います。
玉村副会長	ICTの活用について計画にも新たに追加されましたが、SNSへの周知も継続的に行ってほしいと思います。また一つのアイデアとして、ゲートキーパー研修についてですが地域包括のケアマネージャーが主催する勉強会や教育委員会が行う教員向けの勉強会等でゲートキーパー研修を行ってもらってはいかがでしょうか。他の課も巻き込んだ開催方法を検討していただけたらと思います。
玉村副会長	他にご意見等ございませんでしょうか。 それでは最後に、事務局から何か連絡事項ございますか。
事務局	本日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 なお、議事録を作成し、皆様にご確認をいただいた後ホームページに掲載させていただきますので、ご了承ください。 本日は、会議にご出席いただきまして、ありがとうございました。 事務局からは以上でございます。
玉村副会長	それでは、これを持ちまして、令和5年度第3回我孫子市自殺対策協議会を閉会いたします。本日はお忙しい中ありがとうございました。
以上	